

指定管理施設事業評価票(令和2年度分)

1. 施設所管課 地域振興部 地域振興課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市日光市民活動支援センター		
	所在地	栃木県日光市今市304番地1		
指定管理者	名称	特定非営利活動法人おおきな木		
	代表者名	代表理事 峯岸 和光		
	住所	栃木県日光市板橋3156番地4		
指定期間	令和2年4月1日	～	令和7年3月31日	5 年間
選定方法	公募	評価実施年	5 年間のうち	1 年目
施設設置目的	日光市民活動支援センター条例に定める施設で、市民の自主的、かつ、営利を目的としない社会に貢献する活動を支援することを目的とします。			
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・相談に関する業務 ・情報の収集及び提供に関する業務 ・人材の育成に関する業務 ・連携並びに交流に関する業務 ・研修会等の開催に関する業務 			

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a 入場者数	人	16,500	10,653								
b 利用者の満足度	%	75%	87%								
c コスト削減率(%)	%	100%	87.9%								
d 新規登録団体数増加	団体	5	11								
e 事業開催回数	回	5	7								

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入計 A	14,105,200	0	0	0	0
指定管理料	14,100,000				
利用料収入 C	0				
自主事業収入	0				
その他	5,200				
支出計 B	12,390,058	0	0	0	0
指定事業費	12,390,058				
内人件費 D	7,581,746				
内外部委託費 E	1,946,687				
自主事業費	0				
事業収支 A-B	1,715,142	0	0	0	0
人件費率 D/B	61.19%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
外部委託比率 E/B	15.71%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	
------	--

サービス改善の状況

新型コロナウイルスの流行により、NPO法人をはじめとする多くの公益活動団体が活動自粛や活動困難な状況に追い込まれ、様々な活動に影響を及ぼしており、これまでと異なる支援の模索と試行錯誤を繰り返した厳しい年度となった。サービス向上策として資金調達の停滞により運営継続が危惧されるNPO法人への支援を最優先課題と位置づけ、各種助成金・補助金等の情報提供を様々なかたちで行い、助成金・補助金を活用した団体も多く存在し運営継続の支援に繋がった。その他、活動継続の支援として[オンライン]の仕組みの活用促進を目的にインターネット及び周辺環境の整備や育成カリキュラムの検討、研修会を開催した。公益団体が活動を継続するための支援を県内中間支援施設の中でいち早く実施し、活動継続及び受益者へのサービス提供に貢献する事ができた。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者自己評価	施設所管課評価
① サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。 必要な資格、経験を有する人員が確保されている。 事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B A A	B B B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。 外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	A B	B B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。 個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B B	B B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。 協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B B	B B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。 点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A A	B B
	連絡調整	協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。 市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A A	B B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。 緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。 避難経路が適切に確保されている。	A A A	B B B
	総括	「業務の実施体制」に関する評価【17項目】		B
② サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。 事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	A B	B B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。 利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。 言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A B B	B B B
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。 施設の目的に沿った自主事業を実施している。 事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A A A	B B A
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。 仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。 備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。 協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B A A A	B B B B
	環境配慮	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	A
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。 要望、苦情等を整理し、市に報告している。	A A	A B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	A	B
	利用状況	利用実績は、目標水準である。	B	C
	総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】		B
③ 安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	A	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	A	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	A	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】		B	B
所見 (成果・課題等)	(指定管理者自己評価)			
	<p>新型コロナウイルスの影響から前年度に比べ施設利用者数が大幅に減少したが、利用者の安全安心を第一に考えた施設運営を行い、施設利用のアンケートでは全ての項目で高評価をいただく結果につながった。またコロナ禍だからその社会的弱者への支援の必要性が浮き彫りになり、緊急事態宣言に伴う休館期間に相談受付の継続や、コロナ禍で活動継続を考える団体に対してオンライン会議の推進支援等で、市内で活動を行う公益活動及びその受益者への支援に間接的に貢献した。その他、積極的ICTを取り入れたデジタルトランスフォーメーション(DX)に取り組み、ワークフローを使った脱ハンコ決済システムの導入などで、人的工数の削減、紙の削減など、各種コスト削減の成果が上がっている。</p>			
		(所管課評価)		
		<p>緊急事態宣言に伴う施設の休館等により、前年度に比べ施設利用者数が減少したが、相談受付の継続やコロナ禍でも活動継続を考える市民団体に対してオンライン会議の推進支援等を行ったことにより、市民団体の活動継続及び利用者満足度の向上に繋がった。</p> <p>その他、事業計画で掲げた13の指標についても8で目標をクリアしていることから総合評価を「B(良好)」とした。</p> <p>今後も続くと思われるコロナ禍で、まだまだ満足に活動できていない市民団体も多いため、さらなる市民団体への活動支援を期待したい。</p>		
前年度総合評価	B(良好)	総合評価	B(良好)	

※評価区分

評価基準	A(優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。	総合評価	A(優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。		B(良好) = A、C以外
	C(要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。		C(要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。			
総括評価	A(優良) = 評価項目のうち、A判定が80%以上		
	B(良好) = A、C以外		
	C(要改善) = 評価項目のうち、C判定が20%以上		